

第（ 1 ）年 音楽科の授業

音楽科の目標・特性	<p>(1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。</p> <p>(2) 音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創造的に表現する能力を育てる。</p> <p>(3) 多様な音楽に興味・関心をもち、幅広く鑑賞する能力を育てる。</p>
評価	<p>音楽に幅広く関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>「アピールシート」による事故評価表の活用</p>
の観	<p>音楽的な感受や表現の工夫</p> <p>発想豊かに音楽の表現（感受）を工夫することができる。</p>
点	<p>表現の技能</p> <p>音楽の表現や鑑賞に必要な知識や技能を活用することができる。</p>
	<p>鑑賞の能力</p> <p>音楽を深く聴き取り、そのよさや美しさを味わうことができる。</p>
授	<p>題材名（実施月）</p> <p style="text-align: center;">到 達 目 標</p>
業	<p>ふをよむ練習（3年間）</p> <p>○基礎的な楽譜を自分の力で読んだり、書いたりすることができる。</p>
内	<p>楽典（3年間）</p> <p>○譜表を読むことができる。</p> <p>○音符と休符の名前や長さの割合を正しく理解し表現できる。</p> <p>○長調と短調の違いを理解し、表現に活かすことができる。</p>
容	
内	<p>明るい声でのびのびと歌お</p> <p>○新しい仲間と歌う喜びをわかち合うことができる。</p>
容	<p>う（4月）</p> <p>○歌声を合わせて、大きな声で歌うことができる。</p>
単	<p>「校歌」、「明日という大空」</p> <p>○歌詞の内容を理解して歌うことができる。</p>
元	<p>「太陽がくれた季節」</p>

「川中祭・音楽祭で 発表する曲・卒業式の歌」	○旋律の重なり合いやパートの役割を感じ取って表現を工夫することができる。
詩と音楽の一体化を味 わおう (11月～12月) 「魔王」	○詩と音楽が結びついた歌曲の表現内容を感じ取る能力を養う事ができる。
日本の音楽に親しもう (1月～3月) 「箏曲・六段の調べ」	○日本の楽器の響きの魅力を感じ取ることができる。 ○「さくらさくら」を箏を用いて演奏することができる。
学習に使用する教科 書・副教材・道具・ ファイルなど	1, 「中学生の音楽1」、「中学生の器楽」 2, 次のものは授業で配付します。 五線ノート・プリント 3, アルトリコーダー

学習の前に

○日本の音楽、世界の民族音楽、クラシック音楽などのテレビやラジオの番組に、慣れ親しんでおこう。

授業中

○楽譜のことを学習する場面では、楽譜を読もうとする気持ちを大事にしよう。

○歌を歌う場面では、大きな声で歌おう。

○楽器を練習したり演奏する場面では、意欲的に練習して、歌うように演奏しよう。

○音を聴くことを大事に考えよう。聴くときは他の音が邪魔になるはず。はずです。静かにする場面を大切にしましょう。

学習後

○課題の提出は、忘れずにしよう。

○わからないことがあったり、楽器の練習など、音楽室に用事がある場合は、気軽に来てみて下さい。

評価の仕方

○授業態度、作品、実技テスト、ペーパーテストなどを総合して評価します。

先生からのメッセージ

○楽しく学習するためには、基本的なことを学習しておくことも大事です。一見難しそうに見える楽譜も、ゆっくり学習すれば、少しずつ理解できるはず。あきらめずに学習しましょう。

○「好きこそものの上手なれ」の言葉通り、興味を持てば持つほど、音楽が得意になれるはず。興味を持って頑張りましょう。

○音楽は、時間と空間の中に鳴り響き、存在するものです。毎時間が、生き生きとした新しい表現を生み出す場となるよう、一緒に音楽に取り組みましょう。